
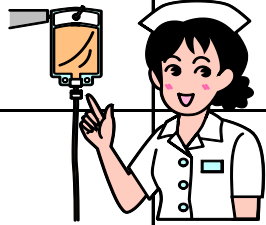



ID : @PATIENTID

経尿道的 膀胱腫瘍の手術を受けられる患者さまへ

患者: @PATIENTNAME 様へ

月日 経過	入院日	手術日	1日目	2日目	3日目～	退院日
達成目標	手術に同意している 手術の準備が完了している 転倒・転落の予防が理解できる	安全に手術を受けることができる 38.0℃以上の発熱がない 転倒・転落しない	尿の流出が良好である 38.0℃以上の発熱がない 転倒・転落しない	おしっこが抜ける 尿管がスムーズに出る 37.5℃以上の発熱がない	尿管がスムーズに出る 37.5℃以上の発熱がない	尿管がスムーズに出る 37.5℃以上の発熱がない
治療・薬剤 (点滴・内服) 処置・検査	いつも飲んでいる薬を確認します。 今日はいつも通りにお飲みください。 夜、眠れない場合は眠剤をお渡しします。 	手術は からです。 朝、便が出なければ便を出す坐薬を使います。 午前手術であれば手術室で点滴をします。 午後手術であれば10時頃点滴をします。 手術着に着替えて下さい。 手術室には歩いて行きます。 手術が終わりましたらベッドでお部屋に戻ります。 寝巻き・T時帯・バスタオルをベッドにご用意下さい。 朝6時にいつも飲んでる薬を飲みます。 昼の薬は飲みません。夕方は普段通りに飲みます。 (ただし、糖尿病の薬は本日は飲みません) 術後3時間胸に心電図モニターを装着します。	手術の時からおしっこの管が入っています。 管は回診の時に抜けますが抜ける日は主治医が決めます。 管が抜けたら、退院日まで名前の書いてあるビンに毎回おしっこをためて下さい。(尿の色や量をみていきます)	点滴は20時頃に点滴が終わります。 薬は普段通りに飲みます。	朝・夕の2回点滴をします。 点滴は本日で終わりです。 	
活動・安静度	特に制限はありません。	手術後はベッド上安静です。 翌日の回診までは歩けません。 夕方から食事が90度にベッドを起こして食べられます。	回診後に歩けます。 状態によって許可がでない場合もあります。			
食事	()食となります。 糖尿病・心臓病・高血圧などある方は治療食となる場合があります。	午前手術の場合は朝6時から絶飲食です。 午後手術は朝食がつきます。10時より水分とれません 手術後3時間経てば、水分がとれます。 夕より全粥と軟らかいおかずの食事がつきます。	今日1日は全粥と軟らかいおかずの食事です。	今日から普通のかたさの食事になります		
清潔	爪を切りましょう。	朝の排便後、シャワーをして下さい。	朝、うがいと顔を拭くタオル持って行きます。 体を拭くタオルを配ります。	管が抜けたらシャワーに入れます。		
患者様およびご家族への説明	入院生活と手術についての説明をします。 手術に必要なものをご用意下さい。 (和式の寝巻き・T字帯・バスタオル)	毎日、午前中に回診があります。 (土日・祝日もあります)				退院計画書と診察券をお渡します。

病名・入院期間などは現時点で考えられるものであり、治療・検査を進めるにしたがって変わることがあります。

市立四日市病院 泌尿器科

患者用クリニカルパス

年 月 日 本人・家族